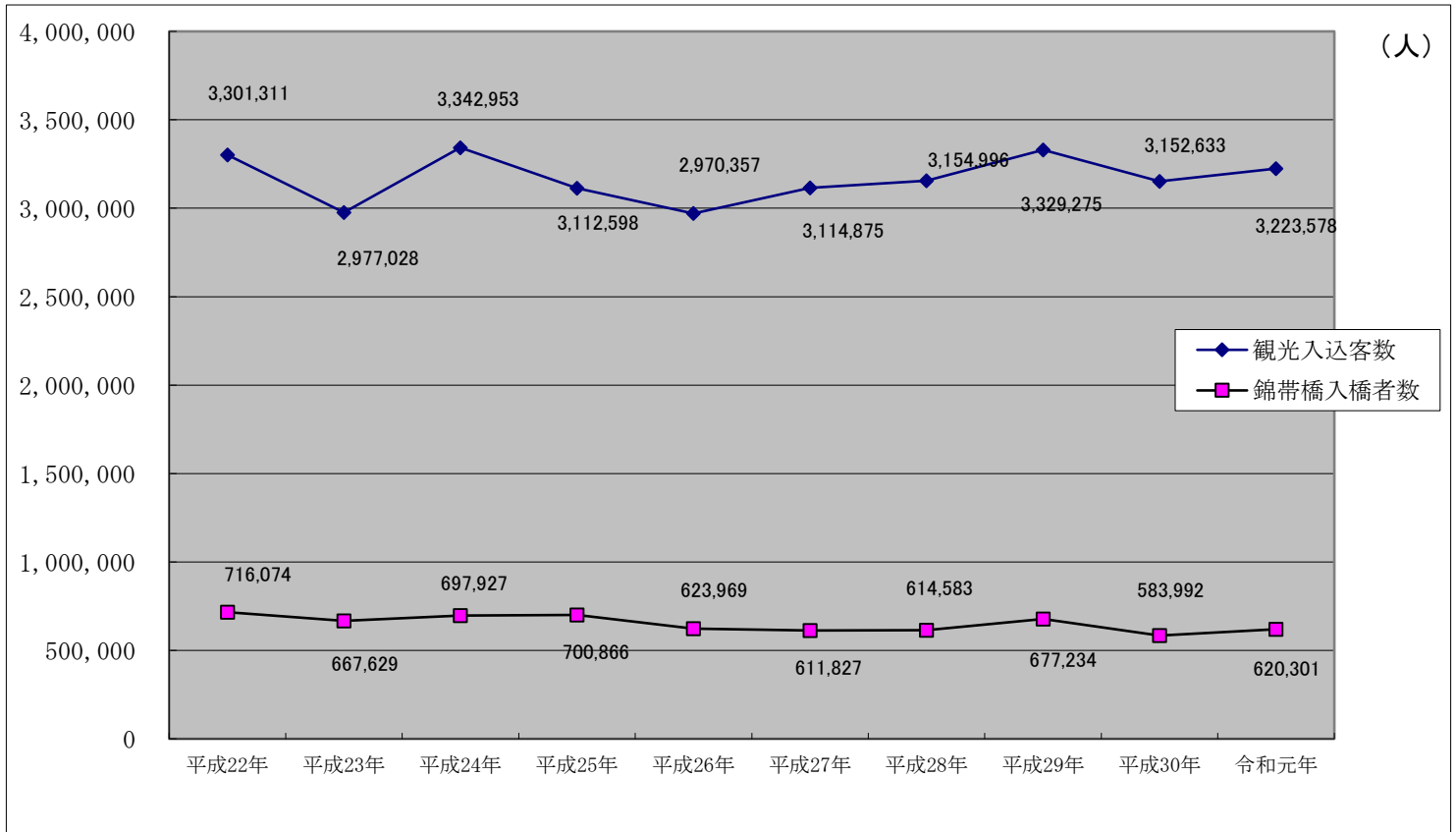


令和元年

岩国市観光客動態調査
報告書

岩国市観光振興課

岩国市の観光入込客数と錦帯橋入橋者数の推移（過去10年間）



(人)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
観光入込客数	3,301,311	2,977,028	3,342,953	3,112,598	2,970,357	3,114,875	3,154,996	3,329,275	3,152,633	3,223,578
錦帯橋入橋者数	716,074	667,629	697,927	700,866	623,969	611,827	614,583	677,234	583,992	620,301

※平成23年3月11日東日本大震災発生。6月19日高速道路ETC割引廃止。

※平成24年12月14日岩国錦帯橋空港開港

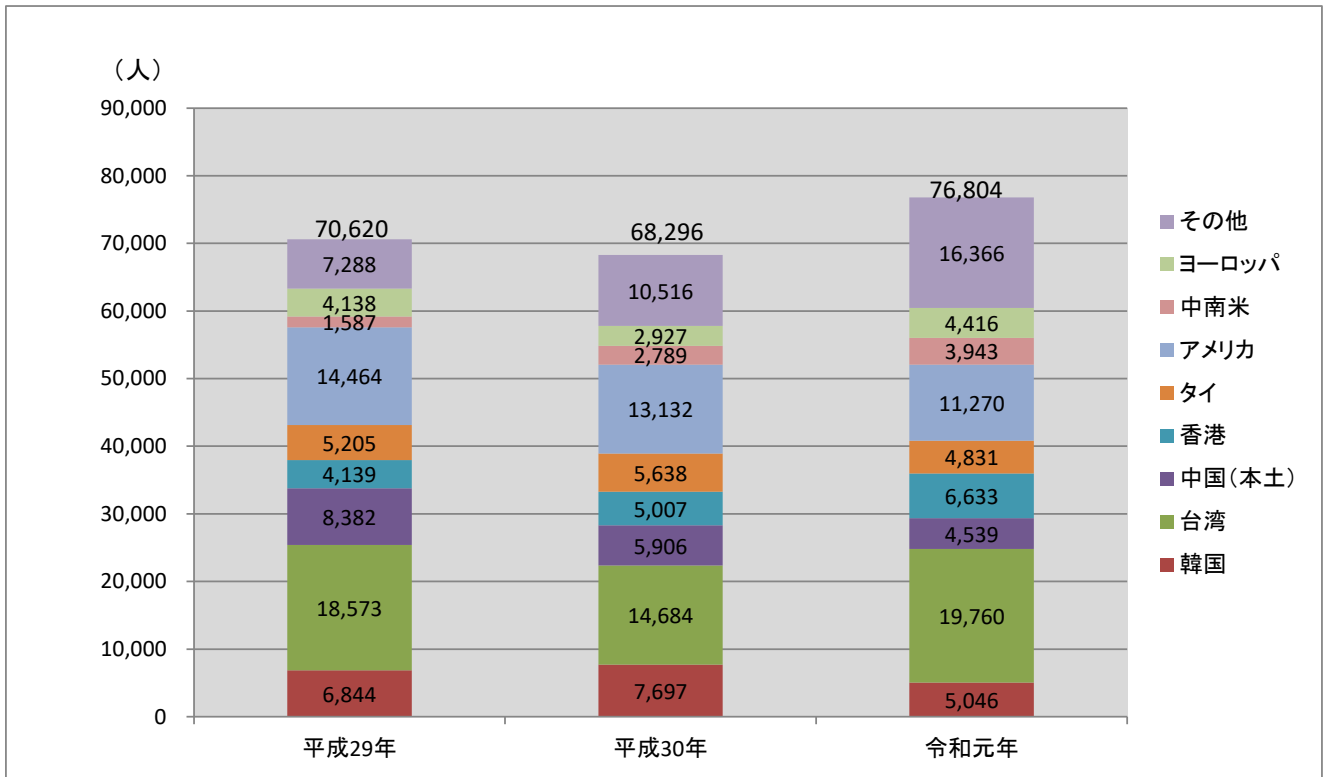
※平成25年8月1日貸切バスの交替運転者の配置基準改正

※平成25年は日米親善デー開催中止・平成26年は日米親善デー開催（航空ショーなし）

※平成29年は山口県 destinations キャンペーン実施

※平成30年7月西日本豪雨災害

岩国市の外国人観光客の推移（過去3年間）



※過去3年間の国別観光客数内訳

	合計	韓国	台湾	中国（本土）	香港	タイ	アメリカ	中南米	ヨーロッパ	その他
平成29年	70,620	6,844	18,573	8,382	4,139	5,205	14,464	1,587	4,138	7,288
平成30年	68,296	7,697	14,684	5,906	5,007	5,638	13,132	2,789	2,927	10,516
令和元年	76,804	5,046	19,760	4,539	6,633	4,831	11,270	3,943	4,416	16,366

過去3年間の錦帯橋入橋者数（月別）

（単位：人）

年・月	平成29年	平成30年	令和元年		
				対前年比	
1月	33,795	35,167	104.1%	37,039	105.3%
2月	29,187	27,675	94.8%	28,335	102.4%
3月	63,473	70,530	111.1%	61,218	86.8%
4月	89,109	75,888	85.2%	85,688	112.9%
5月	77,727	65,095	83.7%	88,965	136.7%
6月	43,988	37,110	84.4%	38,807	104.6%
7月	46,605	27,759	59.6%	35,464	127.8%
8月	73,648	53,206	72.2%	58,031	109.1%
9月	45,762	38,274	83.6%	37,861	98.9%
10月	52,307	47,269	90.4%	49,658	105.1%
11月	76,535	65,270	85.3%	61,919	94.9%
12月	45,098	40,749	90.4%	37,316	91.6%
合計	677,234	583,992	86.2%	620,301	106.2%

令和元年 岩国市観光アンケート調査

1 目 的

今後の観光行政をより効果的に推進していくための基礎的な資料として、岩国市を訪れる観光客の動向を把握するため、観光アンケート調査を実施した。

2 調査概要

◎調査対象

聞き取り調査（錦帯橋周辺に限る）岩国市来訪者

◎調査場所および調査日

来訪者への聞き取り調査（錦帯橋周辺）

*平成31年2月～令和元年12月（随時）

◎サンプル数(有効回答) 2, 206人(昨年2, 433人)

調査方法

観光アンケート調査は岩国観光ガイドボランティア協会に依頼した。期間を通じて、団体、個人旅行とバランスよく聞き取り調査を実施し、サンプル数が2,000人以上を目標に実施をしている。

設問1：来岩観光客の地域別割合

順位	平成30年		令和元年	
1	中国・四国	33.46%	中国・四国	33.54%
2	関東	22.11%	関東	20.40%
3	近畿	15.21%	九州	15.78%
4	九州	14.38%	近畿	15.00%
5	中部	8.84%	中部	10.06%
6	北海道・東北	3.53%	北海道・東北	4.17%
7	外国	0.66%	外国	1.04%
	無回答	1.81%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

来県別ベスト10は ①広島 ②山口 ③東京 ④福岡 ⑤大阪 ⑥神奈川 ⑦兵庫 ⑧愛知 ⑨岡山 ⑩島根

H30 ①広島 ②東京 ③山口 ④福岡 ⑤大阪 ⑥岡山 ⑦神奈川 ⑧兵庫 ⑨愛知 ⑩千葉

地域区分

北海道・東北	北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川
中部	新潟・富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・山梨・三重
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中国・四国	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
外国	アメリカ・台湾・中国・フランス・タイ・香港・ハンガリー・イギリス・オーストラリアなど29カ国

設問2：あなたの年齢

順位	平成30年		令和元年	
1	60代	27.74%	60代	25.57%
2	50代	18.37%	50代	20.31%
3	40代	17.39%	40代	18.99%
4	30代	15.91%	30代	13.78%
5	20代	10.11%	70代以上	10.74%
6	70代以上	9.08%	20代	9.16%
7	10代	1.40%	10代	1.45%
	無回答	0.00%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

来岩観光客の年齢順位は70代以上の割合が微増した。

設問3：岩国への訪問回数

順位	平成30年		令和元年	
1	1回目	64.04%	1回目	62.06%
2	2回目	18.41%	2回目	18.22%
3	4回目以上	9.21%	4回目以上	11.29%
4	3回目	8.30%	3回目	8.43%
	無回答	0.04%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

設問5：旅行先を決めるのに最も参考にしたもの

順位	平成30年		令和元年	
1	旅行雑誌・ガイドブック	27.46%	旅行雑誌・ガイドブック	27.06%
2	地元で知っていた	13.23%	地元で知っていた	15.55%
3	旅行会社	12.54%	旅行会社	12.78%
4	ホームページ	9.17%	ホームページ	8.84%
5	友人の話	8.47%	テレビ・ラジオ	8.30%
6	テレビ・ラジオ	6.99%	友人の話	8.07%
7	SNS	5.42%	SNS	4.85%
8	パンフ・ポスター	3.16%	パンフ・ポスター	2.13%
9	その他	13.52%	その他	12.42%
	無回答	0.04%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】団体バスツアーの地域別台数

(岩国市観光協会：観光バス入り込み状況より)

順位	平成30年			令和元年		
1	中国・四国	1,256台	24.84%	中国・四国	1,215台	24.50%
2	関東	1,216台	24.05%	関東	1,072台	21.61%
3	九州	729台	14.42%	九州	785台	15.83%
4	近畿	728台	14.40%	近畿	632台	12.74%
5	外国	433台	8.56%	外国	492台	9.92%
6	中部	427台	8.44%	中部	486台	9.80%
7	北海道・東北	268台	5.30%	北海道・東北	278台	5.60%
	計	5,057台	100.00%	計	4,960台	100.00%

個人旅行の増加により団体バスツアーの台数は微減している。

《参考》あなたの性別

順位	平成30年		令和元年	
1	男	55.04%	男	56.30%
2	女	44.96%	女	43.70%
	無回答	0.00%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

設問4：旅行企画の利用

順位	平成30年		令和元年	
1	個人旅行	85.20%	フリープラン	82.09%
2	旅行会社の団体旅行	14.51%	旅行会社の団体旅行	11.61%
3			旅行会社の個人旅行	6.30%
	無回答	0.29%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】個人旅行世代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
個人旅行比率	93.9%	96.0%	91.1%	90.9%	88.2%	86.7%	77.6%	89.2%

団体バスの入込みの減に伴い、個人旅行が増加したもの

設問6：岩国を選んだ理由

順位	平成30年		令和元年	
1	歴史的建造物の見学	77.72%	歴史的建造物の見学	70.67%
2	自然の見学	8.18%	広島・宮島から近い	9.11%
3	グルメ	1.19%	自然の見学	8.16%
4	ショッピング	0.17%	バスツアー	3.90%
5	温泉	0.12%	グルメ	1.95%
6	その他	12.41%	温泉	0.18%
	無回答	0.21%	その他	6.03%
	計		計	100.00%

錦帯橋や歴史的建造物の見学目的が主である。グルメを目的に来られる方は少ない

設問7：旅行の形態（同行者）

順位	平成30年		令和元年	
	形態	割合	形態	割合
1	夫婦・カップル	33.13%	夫婦・カップル	32.28%
2	家族	26.76%	家族	29.74%
3	友人	14.47%	友人	12.42%
4	ひとり旅	10.93%	ひとり旅	10.74%
5	友人(女子旅)	6.29%	会社仲間	5.35%
6	会社仲間	5.05%	友人(女子旅)	5.30%
7	修学旅行	0.82%	修学旅行	0.09%
8	その他	2.55%	その他	4.03%
	無回答	0.00%	無回答	0.05%
	計	100.00%	計	100.00%

女子旅で来られる方の割合が少し減少した。夫婦、家族で訪れる方が多い。

設問8：利用した主な交通機関

順位	平成30年		令和元年	
	交通機関	割合	交通機関	割合
1	乗用車（2輪含む）	53.23%	乗用車（2輪含む）	54.76%
2	バス	14.76%	バス	13.83%
3	鉄道（山陽本線）	13.60%	鉄道（新幹線）	12.51%
4	鉄道（新幹線）	10.36%	鉄道（山陽本線）	10.70%
5	航空機（岩国錦帯橋空港）	7.73%	航空機（岩国錦帯橋空港）	6.12%
6	その他	0.28%	その他	1.99%
	無回答	0.04%	無回答	0.09%
	計	100.00%	計	100.00%

乗用車の割合については、昨年に引き続き半数を占めている。

設問9：岩国での宿泊

順位	平成30年		令和元年	
	宿泊状況	割合	宿泊状況	割合
1	泊まらない	89.23%	泊まらない	89.94%
2	泊まる	10.48%	泊まる	10.06%
	無回答	0.29%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】宿泊状況世代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全世代
泊まらない	93.9%	89.1%	91.8%	89.7%	89.3%	90.2%	88.6%	89.9%
泊まる	6.1%	10.9%	8.2%	10.3%	10.7%	9.8%	11.4%	10.1%

宿泊をしない割合が依然として約90%を占めている。

設問10：泊まらない人の滞在時間

順位	平成30年		令和元年	
	滞在時間	割合	滞在時間	割合
1	2～4時間	49.08%	2～4時間	52.32%
2	1～2時間	40.46%	1～2時間	36.85%
3	4時間以上	5.44%	1時間未満	5.59%
4	1時間未満	5.02%	4時間以上	5.24%
	無回答	0.00%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】滞在状況世代別割合

時間	年代							平均
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
1時間未満	3.1%	6.6%	4.3%	6.1%	4.3%	6.7%	5.7%	5.2%
1～2時間	21.9%	37.0%	37.5%	38.5%	34.8%	35.2%	41.2%	35.2%
2～4時間	68.8%	50.8%	51.1%	50.9%	55.5%	53.2%	44.5%	53.6%
4時間以上	3.1%	4.4%	6.8%	3.7%	5.3%	4.7%	8.1%	5.1%

1～2時間の割合が減少し、2時間以上の割合が増加している。
2～4時間の滞在が半数以上を占めている。

設問11：岩国での使用金額（宿泊費除く。）

順位	平成30年		令和元年	
	金額	割合	金額	割合
1	3,000円未満	47.80%	2,000円未満	30.78%
2	1,000円未満	22.24%	1,000円未満	26.93%
3	5,000円未満	21.17%	3,000円未満	25.39%
4	10,000円未満	6.16%	5,000円未満	8.43%
5	10,000円以上	2.55%	4,000円未満	4.22%
6			10,000円未満	2.13%
7			7,000円未満	1.27%
8			10,000円以上	0.82%
	無回答	0.08%	無回答	0.05%
	計	100.00%	計	100.00%

昨年より金額を細分化し集計。
消費額としては依然として3,000円未満が多い。

【参考】観光消費状況世代別割合（未宿泊者のみ）

時間	年代						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1000円未満	41.9%	36.3%	28.3%	27.1%	23.5%	29.5%	35.2%
2000円未満	32.3%	38.5%	33.7%	34.8%	35.0%	28.0%	25.2%
3000円未満	19.4%	18.4%	22.9%	23.9%	28.8%	28.7%	24.3%
4000円未満	0.0%	2.8%	7.5%	5.1%	2.0%	3.5%	1.9%
5000円未満	6.5%	2.8%	6.1%	5.9%	8.5%	8.3%	11.9%
7000円未満	0.0%	0.0%	0.7%	1.3%	0.8%	0.8%	0.0%
10000円未満	0.0%	1.1%	0.4%	1.6%	1.5%	1.0%	0.5%
10000円以上	0.0%	0.0%	0.4%	0.3%	0.0%	0.2%	1.0%

設問12：岩国でのお金の使用先（新規）

順位	令和元年	
1	錦帯橋	85.13%
2	ロープウエー	50.27%
3	岩国城	49.41%
4	昼食	44.88%
5	シロヘビの館	44.65%
6	軽食	34.72%
7	土産（飲食）	24.03%
8	土産（雑貨）	11.33%
9	夕食	3.72%
10	上記以外の有料施設	3.22%
11	体験料	0.32%
12	その他	1.59%
	合計	353.27%

※複数回答のため100%になりません。

錦帯橋周辺の観光施設への観光は高くなっているが、市内観光エリアへの周遊を促す必要がある。

設問13：岩国の前に訪れた観光地

順位	平成30年		令和元年	
1	広島市内	19.32%	広島市内	16.59%
2	宮島	15.78%	宮島	16.32%
3	山口県中西部	10.56%	山口県中西部	8.61%
4	九州	2.55%	九州	1.81%
5	島根 鳥取	2.22%	山口県東部	1.45%
6	広島東部	1.44%	広島東部	1.32%
7	山口県東部	1.19%	島根 鳥取	1.13%
8	岡山	0.66%	関東	0.59%
9	四国	0.53%	岡山	0.59%
10	自宅 その他	39.91%	関西	0.54%
11	無回答	5.84%	四国	0.41%
			東海	0.14%
			自宅・その他	50.32%
11			無回答	0.18%
	計	100.00%	計	100.00%

設問14：岩国の後に訪れる予定の観光地

順位	平成30年		令和元年	
1	広島市内	20.14%	広島市内	16.95%
2	宮島	17.92%	宮島	16.91%
3	山口県中西部	13.03%	山口県中西部	14.96%
4	九州	2.59%	山口県東部	2.77%
5	山口県東部	2.14%	九州	1.95%
6	広島東部	1.60%	広島東部	1.27%
7	島根 鳥取	1.03%	島根 鳥取	1.13%
8	岡山	0.66%	四国	0.91%
9	四国	0.41%	岡山	0.86%
10	自宅 その他	35.64%	関西	0.45%
	無回答	4.85%	関東	0.14%
			東海	0.05%
			自宅・その他	41.47%
11			無回答	0.18%
	計	100.00%	計	100.00%

昨年と同様、広島市内及び宮島との周遊が多い。

設問15：魅力向上のために必要な施策

※昨年と設問内容が変わっています。

順位	平成30年		令和元年	
1	観光情報（見どころ、体験、飲食店等）の入手	21.36%	休憩所が少ない	27.50%
2	観光案内所の数が少ない、分かりにくい	13.81%	観光情報（見どころ、体験、飲食店等）の入手	19.62%
3	目的地までの公共交通の経路情報の入手	8.66%	観光案内所の数が少ない	10.38%
4	地図・パンフレットが少ない	7.00%	公共交通の利用方法・乗り方・料金情報の入手	8.08%
5	観光誘導看板がわかりにくい	6.81%	地図・パンフレットが少ない	5.38%
6	公共交通の利用方法・乗り方・料金情報の入手	5.89%	クレジットカード利用店舗が少ない	5.19%
7	クレジットカード利用店舗が少ない	2.95%	観光誘導看板がわかりにくい	4.23%
8	洋式トイレが少ない。場所がわかりにくい	2.95%	洋式トイレが少ない、場所がわかりにくい	4.04%
9	無料Wi-Fi環境が少ない	1.10%	無料Wi-Fi環境が少ない	1.54%
	その他	29.47%	その他	14.04%

新しく設問を設置した「休憩所が少ない」が第1位となった。
滞在時間の延長、観光消費の増大につながる「観光情報の入手」に注力する必要がある。

令和元年の観光について

平成 31 年の岩国市全体の観光入込客数は、前年比約 2.3% 増の 3,223,578 人となりました。

また、錦帯橋の入橋者数は、前年比約 6.2% 増の 620,301 人となり、一昨年に関起った西日本豪雨災害の影響から徐々に回復しつつあります。

その中で、山口県では観光キャンペーン「YAMAGUCHI MAGIC」が行われたほか、広島県では 10 月～12 月に広島県と JR 西日本が連携して誘客を図る「せとうち広島デスティネーション プレキャンペーン」が実施されました。本市ではこうしたキャンペーンに合わせ、地酒舟、篆刻体験、甲冑体験などの体験型観光を昨年に引き続き行ったほか、岩国市観光協会と連携し新しい観光素材として喫茶舟も運航開始しました。

また、岩国観光プロモーション協議会と連携し広島駅発着の「錦帯橋定期観光バス」の運行を誘致し、広域周遊観光の促進を図りました。

本市を訪れた外国人観光客数につきましては、76,804 人（前年比約 12.5% 増）となりました。内訳としては、台湾人の 19,760 人、次いでアメリカ人、韓国人と続きます。

次に、アンケート調査結果による平成 31 年の傾向についてですが、設問 1 の「来岩観光客の地域別割合」では、昨年と同様、中国・四国、次に関東地域となっています。しかし、錦帯橋を訪れた観光バスは、4,960 台（前年比約 1.9% 減）と微減しました。

設問 4 の「旅行企画の利用」では、団体旅行よりも個人旅行利用者が年々増加していることもあり、約 88% の方が個人旅行となっています。また、10～40 代の個人旅行率は 90% 以上となっています。

設問 6 の「岩国を選んだ理由」では、新しく選択肢として登場した「広島・宮島から近い」が約 10% 近くにもなっており、周遊観光に力を入れた発信が必要であることが分かります。

設問 9 「岩国での宿泊」では、宿泊しない割合が依然として約 90% をしめています。

設問 10 の「泊まらない人の滞在時間」では、2～4 時間が半数以上をしめて

おり、滞在時間の延長が図られたことがわかります。

なお、滞在時間の延長、消費額の拡大に繋がる施策については、「錦帯橋のう飼」遊覧時のゆかたデーをはじめ地酒舟・喫茶舟の実施、また、篆刻体験・甲冑体験などのメニューの充実・周知を図っておりますが、引き続き、岩国ならではの体験型メニューの開発や、今年新たに実施した「サクラのライトアップ」など夜のイベントの実施も必要と考えます。

令和2年の観光について

令和2年は、観光交流の推進を目指し、山口県における『YAMAGUCHI M A G I C !』観光キャンペーンをはじめ、広島県や岩国市を含む周辺地域における「せとうち広島デスティネーションキャンペーン」(10月～12月)などの各種観光プロモーションに合わせ、本市の観光資源を積極的にPRするなど、広域観光の推進に取り組むこととしております。

しかしながら、現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、4月16日、国においては、全国に「緊急事態宣言」を発出され、外出や施設の利用自粛など、様々な対策が講じられています。

本市におきましても、市内観光施設をはじめとした公共施設の一時休館やイベントの中止など、感染拡大防止に努めております。

今後につきましては、新型コロナウイルス終息後、国において行われる各種経済対策に速やかに対応するとともに、市内観光協会や岩国観光プロモーション戦略協議会など関係機関と連携を図りながら、本市独自の観光誘客に向けた施策を実施するなど、地元観光産業をはじめとした地域経済の早期再生・活性化に取り組んでまいります。